

すくわくプログラム

★ねらい

・作品をよく観察し、気付いたことを言葉にしなが
ら、自分らしく表現することを楽しむ。



顔に入れると
おりとておすきに
見えぬわ!



すくわくプログラムでは、ムンクの名画「叫び」を題材に製作を行いました。まずは顔の画用紙に山吹色とベージュを重ねて塗り、目や口などの表情をじっくり観察しながら描いていきました。「山吹色って黄色?」「赤に見えるな」「かもめみたい!」「Zみたい!」など、作品を見て感じたことを保育者や友達と共有しながら取り組む姿が見られました。また、「重ねてみようかな」「指で伸ばしてみよう」と、自分なりに描き方を工夫し、キットパスならではの表現を楽しむ姿もありました。

見本をよく見ながらも、「こんな顔にしちゃおう」と自分のイメージを取り入れる姿も見られ、一人ひとり異なる表情や色使いが生まれました。作品を丁寧に観察することを通して、細かな違いに気付き、自分の思いや発想を形にする楽しさを味わうことができました。

すくわくプログラム

7月7日(金)

★ねらい

- ・作品をじっくり観察し、これまでの経験を生かしなが
ら主体的に表現することを楽しむ。



「すくは
めをいまりかいて
みろんだ!!」



「みて! ニわいかあどしゅ!!」

「わあ
うー
うー!!」



「どんやかおが
ニわいかあどしゅ!!」



「もっとしたから
ぬりたけよ!!」

すくわくプログラムでは、ムンクの名画「叫び」の製作に取り組みました。作品全体をじっくり観察し、「船みたい」「小さいから見えないんだよ」と、自分なりに気付いたことを言葉にしながら描き進める姿が見られました。また、「富士山と同じだね」と以前取り組んだ葛飾北斎の活動を思い出したり、「遠くで見てみよう」と前回の活動で学んだ鑑賞方法を自ら実践したりする姿もあり、これまでの経験を今回の活動へつなげている様子が見られました。

細かな模様や色の違いにも目を向け、見本を何度も見比べながら納得のいくまで描き進める姿はとても主体的でした。同じ作品でも一人ひとり表現が異なり、それぞれの気付きや発想が生かされた、個性あふれる作品に仕上がりました。

「あてきでしゅ!!!」



「よ〜くみるこたが」



「すくせつです!!」



「おみそじぶん
さすちん!!」



「じぶんよりの
いろのまざりを
すくいます」